

感性を磨き、個性を引き出す



# ピアノ・コードプロGRESSION 実践講座

先生の表現が広がれば  
生徒の個性はもっと広がる

復習

## 自分自身の好き！をとことん追求し ゴールイメージをする

曲の中には、コード演奏やピアノアレンジのヒントがたくさん詰まっています。

まずは、好きな曲の中から「印象に残るポイント」を見つけ出し「ゴールイメージ」を作り出す作業ができることを覚えましょう。

慣れていないとかなり苦しい〜〜！ものです。

私もいまだに簡単には出てこないところ！

復習

## コードプログレッションの理解

- \* 主要3和音の理解
- \* トニック、サブドミナント、ドミナントの理解
- \* カデンツの理解
- \* 借用和音の理解（セカンダリードミナント）
- \* ツー・ファイブの理解

復習

コードプログレッションの理解

## 主要3和音

I度、IV度、V度（V7）

ほとんどの曲は、この主要3和音で構成ができる

復習

# コードプログレッションの理解

## 主要3和音

I度、IV度、V度（V7）

ほとんどの曲は、この主要3和音で構成ができる

カデンツ表で

主要3和音演奏できるように

復習・理解・練習しましょう

復習

## コードプログレッションの理解

T = トニック

(主語のようなもの。始まりや終わりの和音)

D = ドミナント

(述語のようなもの。最も緊張状態にあるもの)

SD = サブドミナント

(補語のようなもの。Dを飾る和音)

復習

# コードプログレッションの理解

T = I、III、VI

D = V、VII

SD = II、IV

ダイアトニックコード表で  
復習・理解しておきましょう

復習

コードプログレッションの理解

## ドミナントモーション

基本的な進行のルールの中に

$V \rightarrow I$  ( $D \rightarrow T$ ) があります。

これを「ドミナント・モーション」と言います

復習

コードプログレッションの理解

## ドミナントモーション

基本的な進行のルールの中に

$V \rightarrow I$  ( $D \rightarrow T$ ) があります。

これを「ドミナント・モーション」と言います

カデンツ表で

復習・理解・練習しましょう

復習

コードプログレッションの理解

## 借用和音 (セカンドリードミナント)

他の調から少し借りた和音のこと。

転調にも少し似ているが

もとの調にすぐに戻るので借用和音と捉えましょう。

復習

コードプログレッションの理解

## 借用和音 (セカンドリードミナント)

他の調から少し借りた和音のこと。

転調にも少し似ているが

もとの調にすぐに戻るので借用和音と捉えましょう。

コード表、ほんの一例です。

復習・理解・練習しましょう

復習

# コードプログレッションの理解 ツー・ファイブ

D(ドミナント)の前に飾る和音がSDです。  
この中でもII<sup>m</sup>7 (2度マイナーセブン) がくることで

音楽のエネルギーが非常にまとまり  
進行感を強くします

(こっちに行きたい！と印象付けることができる)

型を知り、自分らしさを打ち出す方法

絶対に

コード演奏に慣れる！必要があります

## 型を知り、自分らしさを打ち出す方法

- ・ 楽譜通りにたくさん練習
- ・ 第1転回形、第2転回形の練習
- ・ コードネームだけを見て演奏できるように練習
- ・ 様々なバックキングを練習

型を知り、自分らしさを打ち出す方法

この練習が

何のためにやるものなのか  
立ち返りながら取り組みましょう！

型を知り、自分らしさを打ち出す方法

楽譜通りから  
抜け出す練習をする

型を知り、自分らしさを打ち出す方法

「自分なりに」をやってみる



コードの構成音を理解すれば大丈夫！

どんな音域でも

どんな音の重ね方でも良いので

「自分なりに」を打ち出していきましょう

# 課題

- ・コード演奏の練習（楽譜を見て演奏）
  - ・コードネームだけを見て演奏できるように練習
  - ・「自分なりに」コードネームを見て演奏する練習
- イメージがあると尚良い。
- 慣れない人は自分で楽譜に書いておくのも良い！

自由に演奏する土台を  
いまのうちに作りましょう！